



2001.6.20

発行人 沼尻 執 No. 3  
編集人 四方 優

発行 東京都建設ボランティア協会  
事務局 (財) 東京都駐車場公社内  
電話 03-5381-3377

東京都建設ボランティア協会

第五回定期総会開催

●五月二十九日(火)・午後三時

五月二十九日午後三時から、ボランティア協会員九十名が出席して、第五回定期総会が開催されました。会議に先立ち司会進行として飯樋副会長を選出して会議次第に入りました。



五月二十九日午後三時から、ボランティア協会員九十名が出席して、第五回定期総会が開催されました。会議に先立ち司会進行として飯樋副会長を選出して会議次第に入りました。

沼尻会長挨拶(要旨)

当協会は建設主体で防災ボランティア活動が発足して駐車場公園協会の支援をうけ、さらに砂防ボランティア組織を併設した。伊豆諸島沖地震災害に支援金を募集して調査団を派遣し救援の一端をになった。

平常時の活動にも一歩を踏み出し、一人前になり発足時から会員も増えニュースも発行するようになった。今後とも地域住民と一緒に河川清掃、現地調査、視察の機会を発展させていき、会を基軸に益々の活動を展開していく。

を作れば対応も可能ではないでしょうか。協会が今後とも新しい試みに努力し、益々の活動発展をお祈りします。と激励の挨拶を受けました。引き続き議長選出に移り、議長に貝瀬充司氏を選出して議事に入りました。

平成十二年度事業報告、同収支決算報告、同監査報告は一括して提案され、質疑なし拍手で承認。

つづいて平成十三年度事業計画(案)、同予算(案)、同防災携行品購入積立特別会計(案)が提案され、質疑応答では「平成十二年度事業で河川愛護訓練参加者11名と報告されたが、本年の訓練では多数参加が考えられないか。」

答弁として、「質問のように多数参加できるような早い時期にきめて、皆さんの参加を呼びかけていきたい。」このあと採決に入り、拍手多数で原案どおり決定しました。

第三号議案の規約改正(案)は提案どおり拍手をもって決定しました。

ひきつづき役員改選に入り、会長に全体の総意で沼尻執氏を選出し、規約第七条により会長推薦により役員名簿を提出して承認されました。

最後に議長退任挨拶ののち、飯樋副会長の閉会の辞で全ての議事を終了して総会を散会しました。

●十三年度新役員は裏面参照。

# 13年度役員

## 平成13年度事業計画(抜粋)

会 長 (1名)	沼 尻 執	再任
副 会 長 (4名)	飯 樋 實 金 子 義 吉 田 正 福 田 欽	再任 転任 転任 新任
理 事 (7名)	川 口 博 雑 賀 徹 四 方 優 興 水 昭 佐 藤 秀 田 中 寅 二 宮 克 弘	再任 再任 再任 新任 新任 新任 新任 新任
監 事 (1名)	伊 藤 美佐雄	再任
事 務 局		
書 記 (3名)	荒 木 清 小 堀 敬 翠 川 功 雄	再任 新任 新任

日本列島は、地殻の構成上常に地震発生の危険性を背負っており、また、活火山が各地に存在するうえ、台風も毎年いくつか来襲し、日本の何処かでは何かしらの自然災害による被害が生じております。

大地震が発生したとき、迅速な初期活動体制が何より重要で、正確な被災情報の収集と伝達が効果的な救援活動につながり、災害復旧に大きく貢献することができます。

また、大地震はもとより大規模土砂災害発生時にも、積極的な支援活動を推進するため、平成11年に砂防ボランティアを当協会内に併設いたしました。本年からは、従前の区域限定の枠を取り外し、都内のいかなる場所でも発生した土砂災害に対しても、災害の規模・期間に応じてボランティア活動が出来るよう規約を改め、体制を整えました。

私たち行政に携わった経験のある建設防災ボランティア協会員は、公共土木施設の迅速な点検、初期段階における適切な応急復旧等の支援業務と、災害対策に関する技術的、専門的助言などに、より経験と知識を生かした活動ができるものと確信しております。

いつ起きても不思議でない大地震、風水時等の土砂災害に対し、私たちは日頃からいつでも出動できる準備体制を整え、これらの災害から地域住民の生命と財産を守るため、非営利で自主的に役割・行動を果たし、もって地域社会に貢献することを目的として活動して行きます。

### 寄稿

## 「バンコク首都圏庁の女性職員について」 (ボランティアニュース第1号から続く)

私が住んでいる柏市の教育委員会から「男女共同参画社会を考えよう」というテーマで、パネラーとして参加してほしい旨の依頼を受けた。

座長の日本橋女学館短期大学講師より、特に東京都庁とバンコク首都圏庁において、女性職員がどのようになつかわれているか比較して説明してほしい旨の話があった。

ここでは、バンコク首都圏庁の女性職員について述べてみたい。

毎週月曜日には、全員が制服を着用し、特に女性はタイトスカートで、きりつとしていて誠に格好がいい。

そのため身分証明書の写真は制服が多い。庁内には、知事・副知事・各局長をはじめ、区画整理部長などラック順に制服写真と名前が貼つてあり、各スタッフの名前を憶えるのも大変わかり易い。しかも職員のほとんどがニックネームをもつていて、庁内ではそのニックネームで呼び合っている。そのニックネームを手帳に落として、フレンドリーになるよう努めて心がけた。ちなみに王様の姪御さんが当時区画整理部次長であったが、職員はピーン(子供がおねえちゃん、お兄ちゃんと呼ぶようなもの)と呼んでいた。会議などにおいてもニックネームで呼び合い、女性がよく発言していた。

小学校などが休みの日には、自分の子供を職場に連れてくる。周りの

職員も親戚みたいに付き合い、パソコンなども自由にさわらせる。また子供たちは英語を少し話す。タイは日本に比べ貧富の差が大きく上流階級の子供達は、小さい頃から英語を塾で習っている。都市計画局の職員の八割が英語を話す。通常はタイ語を話す。我々日本人が入った会議においては英語をつかう。

タイにおいては女性らしい男が市民権を得ている。街を歩いても見分けがつかない。首都圏庁においても、何の違和感もなく職場で平等に扱われている。世の中が進化し、中性化すれば、男女同権と目くじらをたてることもなく、不平等の格差はなくなっていくのではないかと、ふと思つた。

これ以上のことをパネラーとして喋つたのであるが、それが柏市の男女共同参画の報告書として活字となつているのだから恐れ入つてしまう。田中外相も心して。

(栗田 則男)

### 編集後記

○初夏、雨に濡れる紫陽花、瑞々しい新緑に彩られた山々の小道が目にしみる。

○ジリジリ照りつける太陽が待ち遠しい季節がもうすぐそこ……。

○本号編集集中に担当の四方さんが入院・手術をされました。打合せ不十分なため、栗田様からの寄稿を大幅に短縮させていただきましたこととお詫びいたします。(吉田)